

南紀高等学校

| | |
|------|---|
| 実施日時 | 令和元年7月11日(木)～3月6日(金) |
| 参加者 | 生徒360名、教職員73名、地域住民等0名 計433名(延べ人数) |
| 実施内容 | 避難訓練、搬送訓練、応急手当訓練、地震体験、心肺蘇生法、DVD鑑賞(津波に備える)、避難カード作成、HUG訓練 等 |

ねらい

1. 実施形態

定時制昼間部、定時制夜間部の課程別にそれぞれ生徒の実態に即した実施形態とするために、特定の日に絞らず、複数回に分散して実施。生徒指導部を中心に担任や関連教科の教員が担当を分担する形式で準備を進めた。

2. 使用教材

気象庁津波防災啓発DVD「津波に備える」
津波・防災の日をもとに担任用資料を作成
避難所運営ゲームを4セット(昨年購入済み)
世界津波の日パンフレット等

夜間定時制 大地震を想定し、シェイクアウト訓練と体育館への避難訓練。その後、担架を用いて搬送訓練を実施。 生徒12名

- 11月11日(月) 昼間定時制
シェイクアウト訓練、避難カード作成、講義「稲むらの火」、講義「津波防災の日」
生徒87名

- 3月5日(木) 夜間定時制
AED講習会。
心肺蘇生の正しい知識と実技を修得するため、田辺市消防本部から消防隊員を講師に招き、胸骨圧迫とAEDの使い方を学習する。
生徒他25名

- 3月6日(金) 昼間定時制
避難所運営ゲーム(HUG)。
県総務部危機管理局消防課の協力を頂き、HUGに取り組む。 生徒50名

主なプログラム及び概要

1. 実施概要

- (1) 対象生徒：昼間定時制87名
夜間定時制25名

(2) 開催日と実施内容

- 7月11日(木) 夜間定時制
大地震後の津波を想定し、屋上への避難を実施 生徒12名
- 7月19日(金) 昼間定時制
大地震後の津波を想定し、校外へ避難をする予定であったが、雨天のためDVD「津波に備える」を鑑賞。 生徒87名
- 9月2日(月)
昼間定時制 地震による火災 発生を想定し、体育館へ避難。その後、ごりょうくんで地震体験を実施。 生徒87名

参加者感想文

- 「津波の発生や被害についてよくわかった。」
- 「搬送訓練について、けっこう人を運ぶのは大変だった。」
- 「ごりょうくんの地震体験は、少し怖かったけど、いい経験が出来た。」
- 「稲むらの日のことを勉強できてよかった。」

成果と課題

【成果】

- 地震や津波への対応についてしっかりと考えさせることができた。
- 昨年は実施できなかったごりょうくんの地震体験を行えたが、昼間部生徒だけであったので、次年度は夜間部生徒にも体験させてやりたい。
- 夜間に発生した地震や津波への対策について再認識し感想を共有することができた。
- Jアラートや警告音への関心や認識の定着が進んでいると感じることができた。
- DVD視聴は15分～20分程度が集中するには適当との判断で、試作したものを活用できた。

【課題】

- 定時制昼間部、定時制夜間部、通信制田辺学級、通信制新宮学級で防災学習を一齐に実施する機会として、学校祭での学習発表なども組み合わせながら、生徒の実態に応じた防災学習を3課程で計画的、段階的に進めていく必要がある。
- 避難所としての物品を確認したり、避難所運営訓練、避難マップの作成など、より具体的に実践的な学習形態への移行による学習内容の充実をはかりたい。
- 定時制夜間部での生活時間に応じた夜間の時間帯に発生した防災についても、学習内容を研究する必要がある。
- 被災後の社会制度や補償問題について学習を深められるような取組も考えていく必要がある。
- 校外への避難を計画していたが、雨天のため中止となった。次年度には実施できるようにしたい。

防災学習の様子



校長講話



指導部長講話



ごりょうくん
地震体験①



ごりょうくん
地震体験②



搬送訓練